



2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月2日

上場会社名 カネコ種苗株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門、コンプライアンス・IT推進担当 (氏名) 長谷 浩克 TEL 027-251-1619
 四半期報告書提出予定日 2020年10月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	14,639	8.5	340	23.7	375	17.7	260	19.6
2020年5月期第1四半期	13,490	△0.8	275	△15.1	319	△9.7	217	△8.1

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 383百万円 (97.5%) 2020年5月期第1四半期 194百万円 (△26.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	22.30	—
2020年5月期第1四半期	18.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第1四半期	41,079	20,585	50.1	1,764.44
2020年5月期	46,792	20,401	43.6	1,748.70

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 20,584百万円 2020年5月期 20,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	11.00	—	17.00	28.00
2021年5月期	—	—	—	—	—
2021年5月期（予想）	—	11.00	—	17.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	59,500	2.3	1,550	4.2	1,650	2.3	1,150	2.5	98.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期1Q	11,772,626株	2020年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	106,081株	2020年5月期	106,041株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期1Q	11,666,567株	2020年5月期1Q	11,739,296株

(注) 期末自己株式数は、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2021年5月期1Q 72,400株、2020年5月期 72,400株）が含まれております。また、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2021年5月期1Q 72,400株、2020年5月期1Q 一株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年6月1日～2020年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から、4～6月期のGDPが年率換算27.8%減となる過去最大の落ち込みとなるなど、大変厳しい状況となりました。外出自粛や催事開催の制限が企業活動や個人消費に多大な影響を与え、外食産業や観光産業を中心に多くの産業が大打撃を被っております。これにより雇用情勢も不安定化し、先行きに暗い影を落とす状態となりました。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、コロナ禍による外食産業の農産物需要大幅減、長梅雨による青果物の作柄不良や野菜価格の高騰など農家経営に大きな影響を与える事象が頻発する様相となりました。

このような状況のなか当社グループの業績は、コロナ禍による巣ごもり需要を取り込めたことなどから全般的に堅調な推移となり、売上高146億39百万円で前年同期比11億48百万円(8.5%)の増収となり、利益面でも、営業利益3億40百万円で前年同期比65百万円(23.7%)増、経常利益3億75百万円で前年同期比56百万円(17.7%)増、親会社株主に帰属する四半期純利益2億60百万円で前年同期比42百万円(19.6%)増となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、タマネギやカボチャの野菜種子が輸出販売時期の遅れによる販売減があったものの、緑化工事用種子・資材の販売が堅調に推移したことなどから、売上高20億34百万円で前年同期比2.7%の増収となりました。利益面でも、セグメント利益3億24百万円で前年同期比2.6%増となりました。

花き事業

花き事業においては、コロナ禍での外出自粛により家庭園芸・菜園需要が拡大したことや、当社の企画提案が販売先に比較的多く受け入れられたことなどにより、売上高18億3百万円で前年同期比24.3%の増収となりました。利益面でも、セグメント損失48百万円(前年同四半期のセグメント損失は71百万円)で損失は縮小いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

農材事業

農材事業においては、長梅雨による農薬の散布機会の喪失や、焼酎原料用サツマイモの減産により土壌消毒剤の需要が減少したものの、家庭での使用が拡大している茎葉除草剤の販売増や、新規薬剤の積極推進などにより堅調に推移し、売上高73億60百万円で前年同期比6.7%の増収となり、利益面でも、セグメント利益1億93百万円で前年同期比14.1%増となりました。

施設材事業

施設材事業においては、昨年大型台風襲来より千葉県を中心に農業用施設が大きな被害を受け、それに対する復旧需要が継続していることや、コロナ禍による巣ごもり需要が農業資材関係でもみられたことから、売上高34億41百万円で前年同期比8.8%の増収となり、利益面でも、セグメント利益79百万円で前年同期比55.2%増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、410億79百万円となり、前連結会計年度末と比較して57億13百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金や商品の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、204億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して58億96百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

なお、上記「資産の部」と「負債の部」の状況は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、每期ほぼ同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、205億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して微増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月14日の「2020年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,744,528	3,884,476
受取手形及び売掛金	22,835,109	17,902,818
商品	8,464,509	7,429,919
その他	1,463,318	2,274,630
貸倒引当金	△23,063	△18,022
流動資産合計	37,484,403	31,473,821
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,210,675	4,217,555
その他(純額)	2,278,100	2,292,977
有形固定資産合計	6,488,776	6,510,533
無形固定資産		
	96,119	249,408
投資その他の資産		
その他	2,746,406	2,868,872
貸倒引当金	△23,087	△23,091
投資その他の資産合計	2,723,319	2,845,781
固定資産合計	9,308,215	9,605,723
資産合計	46,792,619	41,079,544
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,903,100	14,865,852
短期借入金	—	2,720,000
未払法人税等	234,102	145,071
その他	1,511,088	1,048,968
流動負債合計	24,648,291	18,779,892
固定負債		
退職給付に係る負債	1,403,591	1,395,157
役員株式給付引当金	16,192	21,892
その他	323,016	297,440
固定負債合計	1,742,801	1,714,491
負債合計	26,391,092	20,494,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,765,224
利益剰余金	16,604,614	16,665,215
自己株式	△129,522	△129,579
株主資本合計	19,731,583	19,792,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739,804	854,302
為替換算調整勘定	△41,850	△38,225
退職給付に係る調整累計額	△28,188	△23,243
その他の包括利益累計額合計	669,765	792,833
非支配株主持分	177	201
純資産合計	20,401,526	20,585,161
負債純資産合計	46,792,619	41,079,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
売上高	13,490,439	14,639,230
売上原価	11,327,635	12,376,527
売上総利益	2,162,803	2,262,703
販売費及び一般管理費	1,887,167	1,921,819
営業利益	275,635	340,883
営業外収益		
受取配当金	18,689	20,592
受取家賃	17,606	16,614
受取保険金	11,761	1,500
その他	5,122	3,009
営業外収益合計	53,179	41,716
営業外費用		
支払利息	5,158	4,991
為替差損	3,579	996
その他	656	686
営業外費用合計	9,395	6,674
経常利益	319,419	375,925
特別利益		
固定資産売却益	4,365	—
特別利益合計	4,365	—
特別損失		
固定資産処分損	1,550	88
特別損失合計	1,550	88
税金等調整前四半期純利益	322,234	375,837
法人税等	104,763	115,649
四半期純利益	217,470	260,187
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,453	260,162

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	217,470	260,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,495	114,498
為替換算調整勘定	—	3,624
退職給付に係る調整額	5,106	4,944
その他の包括利益合計	△23,389	123,067
四半期包括利益	194,081	383,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194,063	383,227
非支配株主に係る四半期包括利益	17	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自2019年6月1日 至2019年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,980,512	1,451,549	6,894,746	3,163,630	13,490,439
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,674	566	6	373	14,621
計	1,994,187	1,452,115	6,894,753	3,164,003	13,505,060
セグメント利益又は損失（△）	316,559	△71,938	169,773	51,184	465,579

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	465,579
全社費用（注）	△189,943
四半期連結損益計算書の営業利益	275,635

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2020年6月1日 至2020年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,034,184	1,803,756	7,360,117	3,441,171	14,639,230
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,903	273	4	-	16,181
計	2,050,088	1,804,030	7,360,121	3,441,171	14,655,412
セグメント利益又は損失（△）	324,933	△48,462	193,628	79,433	549,533

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	549,533
全社費用（注）	△208,649
四半期連結損益計算書の営業利益	340,883

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。